

安全に使用するための注意

安全上の注意

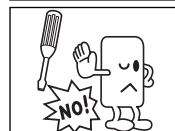
⚠ 危険

- 電池の⊕⊖の逆挿入は、絶対にしないで下さい。電池が漏液・発熱・破裂し、故障の原因となります。
- 付属の充電アダプターで充電を行う前に、リモコンに装着された電池が、当社指定の充電電池であるか必ず確認して下さい。当社指定以外の充電電池および1次電池(アルカリ電池・マンガン電池など)を装着して充電を行うと、電池が漏液・発熱・破裂し、故障の原因となります。特に未使用の1次電池を充電した場合、漏液・発熱・破裂などの発生率が高くなります。
- ニッケル水素電池の液が、誤って目に入った場合は、こすらず、ただちに水道水で十分洗浄し、すぐに医師の診断を受けて下さい。失明の原因となります。

⚠ 警告



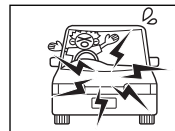
サイレンは、大音量のため、耳のそばで動作させたり、長時間試聴しないで下さい。耳に障害を与える恐れがあります。



本体・振動センサーのコネクター部にドライバーなどの金属を接触させたり、異物を入れたりしないで下さい。内部でショートし、発火する恐れがあります。



人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対に警報機を動作させないで下さい。警報を発し、耳に障害を与える恐れがあります。



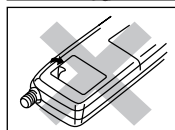
警報機を動作させた状態で、運転しないで下さい。重大な事故の原因となります。



動作を確認する際は、必ず車の外に出てから行って下さい。また周囲に人がいないことを確認して下さい。ショックを与える恐れがあります。



リモコンの電池を交換した際は、幼児の手の届かないところにおいて、早めに処分して下さい。万一口み込んでしまった場合やもれた液をなめたりした場合は、すぐにうがいをして医師に相談して下さい。



リモコンおよびアンテナユニット裏面のラベルを絶対に、はがさないで下さい。ラベルのないものを使用することは、法律で禁じられています。



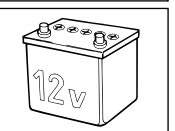
本品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解・改造することは、法律で禁じられていますので、絶対にしないで下さい。

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使用している人は、必ず医師や医療機器製造者などへ相談の上、使用して下さい。また医療機器への影響を防止するため、病院内では必ずリモコンの電源をOFFにして下さい。
- ニッケル水素電池の液が、誤って皮膚に付着した場合は、こすらず、ただちに水道水で十分洗浄して下さい。異常がある場合は、医師の診断を受けて下さい。

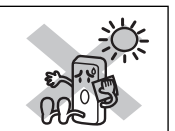
⚠ 注意



本品は、国産車専用です。並行輸入車・外国車へは、取り付け出来ません。



本品は、12V車専用です。24V車へは、取り付け出来ません。



リモコンは、高温になる場所に放置しないで下さい。変形や変色・故障の原因となります。



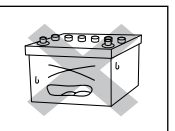
本品は、防水構造ではありません。水がかからないように注意して下さい。特に衣類のポケットなどに入れたまま洗濯したり、水の中に落としたりしないで下さい。故障の原因となります。またエンジンルームの洗浄の際は、一旦サイレンを外して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。



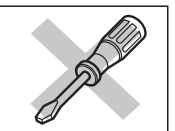
リモコンを落とししたり、硬い物にぶつけないで下さい。またアンテナは、引っばったり、曲げたりしないで下さい。故障の原因となります。



動作確認で車に振動を与える場合は、強く叩きすぎてケガをしないように気をつけて下さい。またガラスやボディーなどが、破損しないように十分注意して下さい。



車のバッテリーが弱っている場合や車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。



本品の分解・塗装・改造は絶対に行わないで下さい。火災・故障の原因となります。

安全に使用するための注意

使用上の注意

- 本品は、車両へのいたずらや盗難に対して警告・警報を発するものであり、車両盗難や車上狙いなどを防止するものではありません。本品を取り付けたお車が、万一盗難やいたずらなどの被害に遭われても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また故障・誤動作などにより警報機が使用出来なかった場合の付随的保証についても、同様に当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 車から離れる際は、確実に施錠されたことを確認して下さい。
- 他のエンジンスターターやターボタイマーとの併用は、絶対にしないで下さい。誤動作や不作動の原因となります。
- 他の盗難警報機(車両に標準装備された警報機含む)と同時に使用することは出来ません。本品を動作させる際は、他の警報機をOFFにして使用して下さい。誤動作の原因となります。なお、他の警報機がOFF出来ない車への取り付けは出来ません。
- 下記のような環境下で使用した場合は、警報を発することがあります。
 1. 強風・豪雨・雷雨・台風などの気象条件の場合。
 2. 地震が起きた場合。
 3. 線路付近・幹線道路沿い・工事現場付近・飛行場付近などの振動が発生する場所。
- 本品の近くで大出力の無線機などを使用されると、無線機の発する電磁波で、誤動作や不作動となる場合があります。
- 本品のリモコンの電波到達距離は、周囲の環境・アンテナユニットの設置状態・リモコンの取り扱いによって変化します。一般的に建物内や周囲に鉄筋コンクリートの建物があったり、高圧送電線や大出力の無線機などのノイズ発生源があったりすると、電波到達距離が短くなります。またアンテナやリモコンを手などで覆っても、同様に短くなります。
- 金属製のアタッシュケースなどにリモコンを入れて使用すると、電波を通さないため通報を受信出来ません。
- エンジンキーや純正キーレスで施錠した場合、車両の持つセキュリティ機能が働き、本品のリモコンで解錠出来なくなる車があります。その際は、リモコンで警報機を解除してから、エンジンキーまたは純正キーレスで解錠して下さい。
- 運転席ドアが施錠状態で他のドアが解錠状態のとき、リモコンで施錠操作を行っても、他のドアが施錠しない車があります。その際は、リモコンで解錠操作を行ってから施錠操作を行って下さい。
- 運転席ドアが解錠状態で他のドアが施錠状態のとき、リモコンで解錠操作を行っても、他のドアが解錠しない車があります。その際は、リモコンで施錠操作を行ってから解錠操作を行って下さい。
- ヒューズを交換する際は、ヒューズ部が高温となって、火傷する恐れがあります。また使用中は、ヒューズ周辺の温度が上がります。
- リモコンが汚れた場合は、薄めた中性洗剤を布に染み込ませ、よく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いて下さい。ベンジン・シンナーなどは、絶対に使用しないで下さい。変形や変色・故障の原因となります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、すみやかに電池をリモコンから取り出して下さい。電池の漏液や錆の発生・電池の性能低下や寿命低下の原因となります。
- リモコン本体にキーホルダーなどを取り付ける場合は、必ず付属のホルダーリングに取り付けて下さい。破損の原因となります。